

購買と物流が連携した新たな広域購買の取り組み

従来

- 【購買】
各県域で品目選定・県別発注・仕入・県別購買条件交渉
- 【物流】
各県域倉庫へ納品

広域物流センター稼働後

- 【広域購買】
ブロック域での品目選定・一括発注・仕入・購買条件交渉
- 【広域物流】
広域物流センターへの集約納品

効果04 広域購買による購買力強化

農家戸配送業務の効率化支援とシステム導入による物流業務の効率化 高品質な物流サービスの提供をめざします

効果05 システムによる業務効率化

農薬の農家別セット組システム (DAS:デジタルアソートシステム)

①農薬を指定されたコンテナに入れる (種まき)

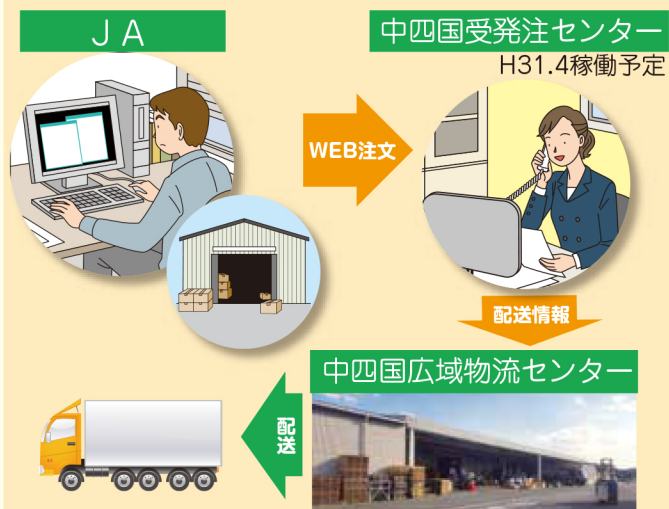


倉庫管理システム (WMS) による在庫管理

バーコードを活用した在庫管理



受発注センターシステムによる JA・全農受注業務の効率化



②検品して箱詰め

Logistics Innovation JA全農 中四国広域物流センター



「JA全農 中四国広域物流センター」の概要 (平成30年12月現在)

- 名称：JA全農 肥料農薬部 中四国営農資材事業所 中四国広域物流センター
- 稼働時期：2018年(平成30年)12月
- 所在地：岡山県岡山市南区藤田566-126
岡山県本部総合流通センター内
電話：086-230-7266 FAX：086-296-6611

4. 施設概要：建物床面積延べ 7,213㎡ (2,183坪)

- ①普通物倉庫 2,500㎡ (757坪)
- ②普通物倉庫 2,800㎡ (848坪)
- ③普通物倉庫 1,000㎡ (303坪)
- ④普通物倉庫 600㎡ (181坪)
- ⑤危険物倉庫 313㎡ (94坪)

5. 供給エリア：中四国7県域
(鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、愛媛)
6. 収容能力：農薬約11万ケース

